

第217回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日 時: 2008年11月21日(金) 13時~17時40分

会場: 東京理科大学薬学部校舎 薬学部1442教室(14号館) [アクセス](#)
[千葉県野田市山崎2641、電話:04-7121-1501、交通:東武野田線「運河」駅下車] 車
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩15分)。
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

講演主題: 質量分析計を用いたバイオマーカーの探索技術と応用例

近年、バイオマーカーの探索技術を利用することにより、特定の疾病の診断や最適な治療薬の選択などを判断することが可能となっています。特に、質量分析計はバイオマーカーの探索、定性や定量分野において急速に活用されるようになりました。本例会では、質量分析計を用いたバイオマーカーの探索技術や定性・定量に関するご講演をいただきます。

講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:10)
(株)レリサーチセンター) 竹澤 正明
2. 複雑なデータから効率的にマーカーを検出するためのアプローチ (13:10~13:40)
(日本ウォーターズ(株)) 川瀬 泰司
3. 内因性代謝産物のターゲットメタボロミクス (13:40~14:10)
(アプライドバイオシステムズジャパン(株)) 小椋 哲雄
4. 「たんぱく質・ペプチド定量のためのソフトウェアSRM Workflowの概要とTSQ Vantageによる解析例の紹介」 (14:10~14:40)
(サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)) 窪田 雅之
5. メタボロミクス研究で注目されるCE/MS技術と各種解析ソフトウェア (14:40~15:10)
(アジレント・テクノロジー(株)) 野上 知花
6. MALDI-TOF/MSとLC/MS/MSを用いた糖鎖構造解析(15:25~16:00)
(株)東レリサーチセンター) 水野 保子
7. LC-MSによるポリペプチドバイオマーカーの高感度定量法の開発(16:00~16:35)
(第一三共(株)) 合田 竜弥
8. 血清中のペプチドを対象とした診断法の確立を目指して(16:35~17:10)
(北里大学理学部) 小寺 義男
9. 総括:「バイオマーカー探索技術」 (17:10~17:40)

参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000円、その他:4,000円、学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

技術・情報交流会

講演終了後、講師を囲んで技術・情報交流会を開催します。会費1,000円。

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい。

参加証は発行致しませんので、直接会場にお越しく下さい(定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)。

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572、E-mail:hm_tanaka@jsac.or.jp]